街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ＊シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

后整広報107

VOL.21

2018 December

サポート接骨石川(SSI)活動報告

金沢マラソン2018 ほか

シリーズ●教えて先生!

ひとりで出来る簡単ストレッチ



兼六園 噴水

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。
ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

１、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
２、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
３、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
４、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
５、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city ビバ＊シティ

VOL. 21

2018 December

公益社団法人
石川県柔道整復師会 后整広報107

C O N T E N T S

1 **巻頭言**
人材育成への第一歩！　二ッ谷 剛彦

2 **サポート接骨石川（SSI）活動報告**
①宝浪漫マラソン2018
②KOMATSU全日本鉄人レース
③野々市じょんからの里マラソン
④金沢マラソン2018
【番外編・研修会】　質の高いケアで選手をサポートするために

9 **教えて先生！**
ひとりで出来る簡単ストレッチ
大腿四頭筋（だいたいしとうきん）編

10 **第42回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会**

11 **Member's Voice**
随想　金沢南支部　川本 力雄

12 **支部だより**
金沢南支部／金沢北支部

13 **トピックス**

巻頭言
かんとうげん

人材育成への第一歩！

～動き出した『制度改革』と『教育改革』～



■二ッ谷 剛彦
（ふたつや たけひこ）
（公社）石川県柔道整復師会 副会長

［プロフィール］
平成17年より理事６期目。その間、事業部長・保険部長・金沢北支部長・健康やわら体操普及委員長等を歴任、北信越ブロック柔道監督としても活躍する。平成27年４月に副会長及び、日整代議員に就任。柔道6段。

医療人としてふさわしい人材を育てる

Viva City ご愛読者のみなさまには、日頃より公益社団法人石川県柔道整復師会の活動にご理解ご協力を頂いておりますことに厚く感謝申し上げます。平成 30 年度の本会行事も予定どおり執行され、今後さらに嶋谷清会長のもと執行部一丸となって、柔道整復師業界の発展のために邁進していきたいと思っております。

さて、昨年度厚生労働省から通達があった柔整業界の『制度改革』の目的は、柔整療養費の適正化を図ることであり、「公的審査会の権限強化」と「施術管理者の要件強化」に関する取り組みが展開されています。審査会では、提出された療養費請求書に対して、不正請求が行われないように審査項目の見直しが行われました。また９月初めには、石川県内において北信越地区を中心とした施術管理者講習会が二日間にわたって行われ、接骨院開業を志す若い柔道整復師たちが、目を輝かせながら真剣な面持ちで受講する姿がありました。

一方、柔道整復師を目指す学生の資質向上を視野に入れた『教育改革』も進められ、今年度より卒後臨床研修を盛り込んだ制度の導入も実施されています。臨地実習では初々しい顔をした柔道整復師の卵たちが、初めての患者を前に緊張しながらも接骨院実習に奮闘していました。これらにより、医療人としての良識ある見識と確かな技術を兼ね備えた人材が育成されるものと確信しています。

受診者の立場で助成金の給付方式を協議

ご承知のとおり石川県においては、「乳幼児（子ども）医療費助成制度」により、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的に、保険診療の一部負担金について県と市町から助成が行われています。

制度発足時は、受診者が医療機関に対して保険診療の一部負担金を支払った後に、受診者が市町に対して助成金額の請求を行い支払いを受けるという償還払い方式でしたが、平成 27 年度からは医療機関が市町から助成額相当額の支払いを受ける現物給付方式へと変更され、受診者の負担が大幅に軽減されています。しかしながら、柔道整復師療養費に関してはいまだに償還払い方式となっており、この問題を解決するため県、各市町行政機関及び関係機関との協議を重ねています。

結びになりますが、県民のみなさま方が健康で安心して暮らせるよう本会会員一同努力していく所存です。

今一度読者のみなさまにおかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせて頂きます。

Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨
石　川

● 特 集 ●

サポート接骨石川（SSI）活動報告

ハツラツと健やかに人生を楽しむお手伝い

サポート接骨石川（SSI）は、（公社）石川県柔道整復師会会員によるボランティア組織です。ここでは県内各地で開催されたスポーツイベントでのケア・サポートを中心に、SSIによるさまざまな活動の一部をご紹介します。

サポート接骨石川（SSI）活動①

宝浪漫（たからろまん）マラソン2018

平成30年9月23日（日）、宝達志水町において「宝浪漫マラソン」が初めて開催され、（公社）石川県柔道整復師会 日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（SSI）から５名が参加して会場での救護活動を行いました。



30kmの部が間もなくスタート。

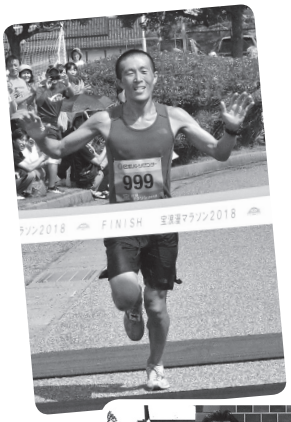
初開催となるこの大会で選手たちは、能登地方最高峰の「宝達山」から最後は美しい日本海の砂浜「千里浜なぎさドライブウェイ」まで、文字通り宝達志水町の山の宝と海の宝をめぐる個性的なコースを走り抜けます。さらに、オムライスや高級ぶどうのルビーロマンを使ったロールケーキが供されるなど、町の宝を満喫できるこの大会に1,555名のランナーが参加しました。

当日は、朝７時50分より宝達志水総合運動公園体育館内の特設ケアブースにおいて、出走前の選手にテーピングやストレッチなどのコンディショニングを行い、ゴール後にはドクターとともに選手への救護活動を行いました。

初めての開催ということで地元実行委員会をはじめ関係者の方々の熱い想いが感じられ、大会成功の一助となれるよう私たちも備えを進

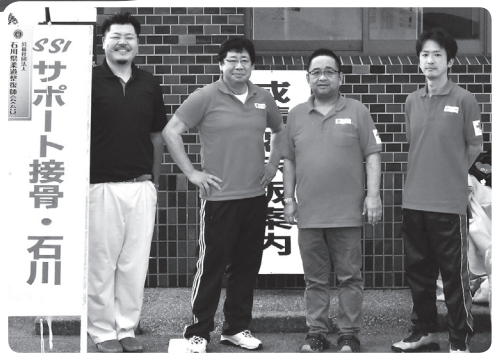

初開催となるこの大会に
1,555名が出場した。


５人のスタッフで選手の救護にあたった。



山道から砂浜と個性的なコースを走ってゴールする選手たち。

めました。宝達山を標高350メートルまで駆けのぼった後に砂浜を走ってゴールする選手たちには、これまでのケアとは違う救護が必要になることも想定されることから、コースに登山を取り入れている「ＫＯＭＡＴＳＵ全日本鉄人レース」の事前研修を受講し、大会当日は合計33名のランナーへの救護活動をさせて頂きました。



初の試み！

小松で開催の研修会を能登でも受講。



KOMATSU 全日本鉄人レースの事前研修会場とラインで結んだ。

●宝浪漫マラソンについては
本会ＨＰでもご覧いただけます。
URL:http://jyuusei-ishikawa.jp/ssi-takara.html

Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨
石　川

サポート接骨石川（SSI）活動②

KOMATSU全日本鉄人レース



【レース概要】

鉄人の部・ロング・チームリレーの部●第１ラン６km≫バイク60km≫第２ラン20km（鉄人の部の登山が天候悪化に備えて中止され、ロングと同じレース内容になった）。

ショートの部●第１ラン６km≫バイク60km≫第２ラン６km

平成30年９月30日（日）、大型の台風24号の影響が心配される中、第37回ＫＯＭＡＴＳＵ全日本鉄人レース2018が開催されました。（公社）石川県柔道整復師会では小松ドーム内に特設ケアブースを設置し、日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（SSI）として選手たちへのケア・サポート活動を行いました。

台風の接近により開催すら危ぶまれる状況でしたが、大会当日は前夜の大雨が嘘のように上がり、曇り空から時々晴れ間ものぞく穏やかな天候になりました。ただ、危険を回避するために鉄人の部の動山登山を取り止めにするなどコース変更を余儀なくされたほか、遠方から参加



前夜の雨もあがり、雲間から青空がのぞく絶好のコンディションに。

する選手の一部にも交通機関の乱れから棄権をされる方が出るなど、例年よりやや寂しい大会になった感は否めません。それでも、スタート直前の選手による「ガンバロー」の一斉三唱が高らかに響きわたり、号砲がとどろくと同時に選手達がコースへと飛び出していきました。



選手がスタートしゴールするまでのしばらくの時間、ブースは静かになる。その時間を利用してテーピングの講習を行った。KATT の皆さんも食い入るように中村学術部長の手元を見つめる。

■早朝５時から220名の選手をケア

今大会でケア・サポートを行った42名の会員は、例年お手伝い頂いている金沢大学アスレチックトレーナー部(KATT)の16名とともに午前５時から活動を開始しました。レース前のテーピングやコンディショニング、レース後にはストレッチやアイシングを施し、計220名の選手にケア・サポートなどを行いました。

なお、今大会をはじめ各スポーツ大会等でケア・サポート活動を行う本会会員は、事前研修会や種々の研修会を経て参加しており、選手の方々へ質の高いケアを提供できるよう日々努力を重ねています。問診・ケア・広報活動においても個人情報に配慮しながら、短時間で現症を把握し適切な処置をとることが出来るよう、受付からケア担当者までの流れを確認し合い準備を行っています。

受付担当のＫＡＴＴの皆さんもスタンバイ OK。



今回は悪天候の影響で選手の方々のコンディションが心配されましたが、なにより参加された皆様が無事競技を終えられたことに胸をなで下ろしています。来年も選手の方々の期待にこたえられるように技術を高め、ケアブースでお待ちしております。



短時間で効果的なケアを提供できるよう心がけた。



● KOMATSU 全日本鉄人レースについては
本会ＨＰでもご覧いただけます。
URL:http://jjyuusei-ishikawa.jp/ssi-tetujinn.html

Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨石川

サポート接骨石川（SSI）活動③

野々市じょんからの里マラソン



1047 名の選手が出場した。

平成30年10月21日（日）、第37回野々市じょんからの里マラソン大会が野々市市民体育館周辺で開催され、（公社）石川県柔道整復師会から18人の会員が、日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（ＳＳＩ）として選手たちのケア・サポートにあたりました。

■今年は中高生のケア希望が多く

秋晴れの下、県内外から参加した1047人の選手が住宅街や郊外に広がる田園地帯を快走しました。スタート付近では、野々市明倫高等学校の吹奏楽部が息の合った演奏を行い、同校のキャラクター“リンくん”も登場して会場を大いに盛り上げていました。

今年は中高生のケア希望者が多く、ケア・サポートを行う会員にストレッチやアイシングの仕方について熱心に質問し指導を受ける様子も見られました。また友人に勧められてブースを訪れる中高生もおり、活気ある雰囲気の中でサポート活動が行われました。


大会前日にブースの準備と研修を行って、当日の活動に臨んだ。


まず受付で選手の状況をしっかりと把握。

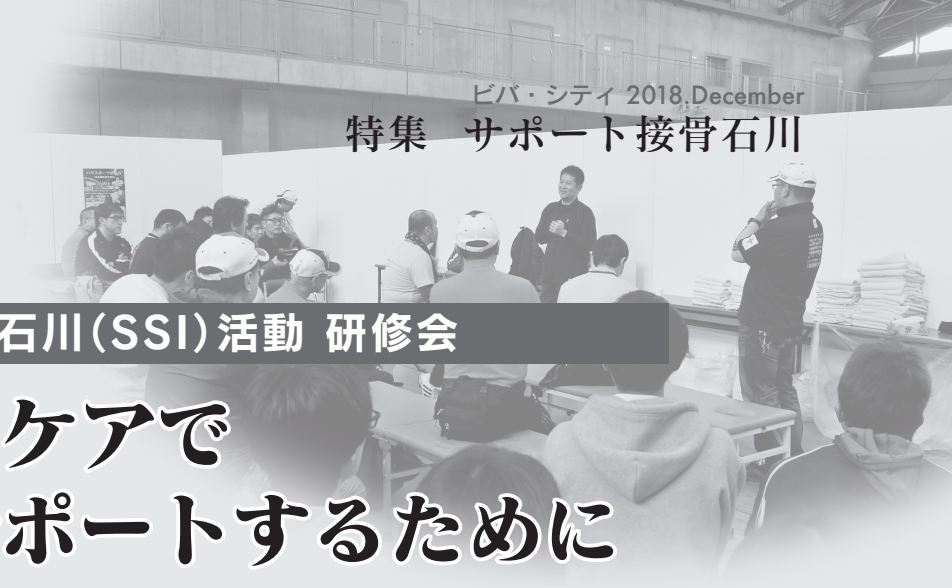

金沢南支部を中心とする18名の会員でケア・サポートを行った。

■ケア・サポート活動の意義を改めて実感

野々市じょんからの里マラソンは、家族で走るファミリージョギングの部から一般の部まで幅広い年齢層の方が参加し、走る楽しさを味わえる大会です。その中でも特徴のあるのがトリムジョギングの部で、毎年30名くらいの方が出場しています。時計を持たずにできるだけ自己申告に近いタイムで走るレースで、上位の選手は誤差２～４秒という成績でゴールしていました。


金沢南支部として賞品を提供、西川典孝支部長から贈られた。

閉会式では今大会でマラソン1,000回目という選手も紹介され、ランニングを楽しむ人が増えるとともにケア・サポートの重要性も高まると感じた大会となりました。



番外編

サポート接骨石川（SSI）活動 研修会

質の高いケアで選手をサポートするために

KOMATSU全日本鉄人レース

二部構成で事前研修会を実施

日　時■平成30年9月19日（水）
会　場■小松ドーム（和室）
参加者■ケア参加者（本会会員及び金沢大学アスレチックレーナー部員）



中田会員（左）と佐藤会員を講師に研修が行われた。

中田健市会員、佐藤裕之会員を講師にKOMATSU全日本鉄人レースのケア・サポート参加者のための研修会を実施しました。

中田会員は、ケア活動を行ううえでの心構えや注意点、訴えのある障害部位をみながら、短い時間の中で全身状態を確認し適切な対応を行なうこと。また選手の身体が時間とともに回復していく時どのような経過をたどり、回復途上にある身体に対して注意すべき点などを講義しました。

佐藤会員は、トライアスロンにおけるケアのポイントや、上下肢におけるストレッチの方法などを説明しました。

大会当日　中村茂之会員が下肢における障害をみるうえでのポイントやテーピングの仕方などについて実技を交えた講習を行いました。

Lineで結んで能登でも受講

めんでん接骨院（宝達志水町）に集まった宝浪漫マラソンの参加者も同時受講。研修会の実施方法として、活用が期待できます。

金沢マラソン

ケア開始を前に下肢の障害への対応の仕方をシッカリと確認

日　時■平成30年10月28日（日）
会　場■ケアブース（石川県産業展示館４号館）
参加者■ケア参加者（本会会員、石川県スポーツトレーナー連絡協議会メンバー、金沢大学アスレチックトレーナー部員、北信越柔整専門学校学生）

大会当日の活動開始前の１時間、中村茂之会員がケア参加者全員に向けて研修を行いました。ランナーがどんな障害を起こしやすく何に注意をしてみればいいのか、対応としてどの部位にどんな目的でケアをするかを明確にしたうえでストレッチやテーピングを行うこと、その方法について根拠を述べながら実技指導を交えて講習を行いました。

受講者は熱心に聞き入り、たくさんの質問が寄せられていました。

実技指導を行う中村会員。



●本会では、今回の特集でご紹介した以外にも様々なスポーツイベントでケア・サポート活動を実施しており、活動に参加する会員は事前研修等の受講が必要です。選手の皆さんにより質の高いケアを提供するため、準備万端整えて各大会に臨んでいます。

Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨石川

サポート接骨石川（SSI）活動④

金沢マラソン2018



スタート
しいのき
迎賓館前

約13,000人が一斉にスタート！
実に壮観だ。



山野市長、女優の浜辺
美波さんらに見送られてスタート！





妖しい～！でも楽しそう!!

平成30年10月28日（日）第４回金沢マラソン2018が開催され、（公社）石川県柔道整復師会は、日本赤十字奉仕団・サポート接骨石川（ＳＳＩ）としてケア・サポート活動に参加。スポーツトレーナー連絡協議会（ＩＳＴ）の方々を含む計55名で、432名の選手の方々にケアを行いました。また、金沢大学アスレチックトレーナー部（KATT）の皆さんにブースの設営・撤収、受付業務のお手伝いを頂きました。

■13,049人の選手が金沢の街中を快走

金沢マラソンのコースの特徴は、金沢の街中を巡る回遊型であるという点です。午前８時40分に「しいのき迎賓館前」をスタートし、金沢駅兼六園口の鼓門前を通り中心市街地から歴史的景観ゾーンや旧街道まちなみ等の７つのゾーンを巡ります。出場した13,049人の皆さんには、伝統的な美しさと歴史文化があふれる中に「新しさ」が共存する金沢の良さを再認識して頂けたことと思います。

スタート前は雨模様で、身体が冷えないようにレインコートを羽織る選手の姿が見受けられたものの、台風の影響で大雨となった昨年のように大きく天候が崩れることはありませんでした。選手にとっては走りやすかったと思われますが、コース上に設けられた15か所の救護所には筋痙攣を起こした方や、転倒による外傷の方が多く訪れました。



どこまでも続く沿道の声援とハイタッチの波が、選手を励ます。

■手話通訳を介してケアする場面も

本会会員が参加したブースはゴール後の選手のケアです。石川県産業展示館４号館の特設ブースで、走り終えた選手432名に対しストレッチ、必要に応じテーピング、アイシングを施しました。この大会には海外からの参加も多く、ランナーの状態を確認し適切なケアを行うため例年苦労するのは、日本語を話せない選手とのコミュニケーションです。片言の英語と身振り

手振りで悪戦苦闘するうちに、日本語の会話まで英語風になっていることに気づき苦笑いすることもありました。また今年は聴覚障がい者の方がケアを希望されたため、市役所の手話通訳の方と連携しながらケアを受けて頂くという一幕もありました。

昨年までは仮設テントで照明設備がなかったため、希望者がいても薄暗くなった時点で終了するしかなかったのですが、今年はシャトルバスの最終便が出た後も、夕方５時25分に撤収を終える最後の最後までケアを続けることができました。



山野金沢市長がケアブースに激励に来られた。



手話通訳の方の力を借りて、選手の症状を聞き出す。

今回は事前研修に加えてケアの空き時間にも、中村茂之学術部長による研修を行いました。選手の皆さま方が懸命な努力をして大会当日を迎えるように、私たちもそれに負けない努力をして参りますので、来年の金沢マラソンでもケアブースでお待ちしています。



●金沢マラソンについては
本会ＨＰでもご覧いただけます。
URL:http://jyuusei-ishikawa.jp/ssi-kanazawa.html



選手がゴールし始めるとブースもフル稼働に。

特設ブース
石川県産業展示館





選手の高揚感に刺激されてケアスタッフも皆いい表情だ！





希望者が途切れず、満床の状態が続く。

ごった返すような慌ただしさの中でも、連携はスムーズだった。

蓄積してきたノウハウを後輩に

北信越柔整専門学校で講義

金沢マラソンでは北信越柔整専門学校も単独でケアブースを開設していますが、このような大会でチームとしてケア活動を行う場合の注意点や組織マネジメントについて本会に講義の依頼がありました。

平成30年10月25日(木)午後３時より北信越柔整専門学校において、本会学術部長の中村茂之会員が「スポーツケア活動について」をテーマに講演を行ない、スポーツ柔整科の生徒など約25名が真剣に講義に聞き入っていました。

教えて先生！



ひとりで出来る簡単！ストレッチ ～大腿四頭筋（だいたいしとうきん） 編～



運動の後はいつも太ももがパンパン！金沢マラソンの時は、ケアブースでやってもらったストレッチのおかげで楽になったのですが、自分でできる方法があったら教えてください。

スポーツではたくさんの筋肉を使うけど、中でも太ももの前の筋肉（大腿四頭筋）は重要な役割をしていて、強力な力を発揮するんだよ。この筋肉に張りやこわばりがあると肉離れやスポーツ障害の引き金になることもあるから、柔軟性を高めることは重要なんだ。今回は大腿四頭筋のストレッチ法を教えるね。

大腿四頭筋のセルフストレッチ法

1 壁に向かって立ち、片手を壁につけ反対の足首を持って膝を曲げていきます。太ももの前が心地よく伸ばされることを感じながらゆっくりと伸ばしていきます。

お尻にかかとをまっすぐ引きよせるようなイメージで太ももの前の筋肉をゆっくり伸ばしていきます。





◀後ろから見ると

2 太ももの前のやや内側（内側広筋）を伸ばします。



足首を持って外側に

持っている足首を外側に向けていきます。❶よりも内側の筋肉が伸びていくことを感じるはずです。

3 太ももの前のやや外側（外側広筋）を伸ばします。



足首を持って内側に

持っている足首を内側に向けて伸ばし、外側の筋肉の伸びを感じます。

ひとロメモ

寝て行なう方法やイスに座ってする方法などもあります。動画で紹介しますので、下記QRコードからご覧ください。詳しくは、接骨院の先生にお問い合わせください。

おへそを見ながらがコツ！

腰が反っているとストレッチの効果が出にくかったり、骨盤の向きを注意しないと腰痛のきっかけになったりします。自分のおへそを見るように背中を丸めてストレッチを行うと、より効果があり安全です。



※ストレッチ法の詳細についてはお近くの接骨院にお問い合わせください（石川県柔道整復師会HPから動画もご覧頂けます）。

あなたの街の接骨院の検索と動画閲覧はこちらから ⇒

http://jyuusei-ishikawa.jp/



第42回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

北信越西部 準優勝!! 石川代表の 4選手が大健闘

平成30年10月7日(日)、東京講道館で第42回日整全国柔道大会が開催されました。石川・富山両県で編成された北信越西部チームは、各地区を勝ち上がってきた強豪を相手に健闘し準優勝となりました。

大会は全国16ブロックの代表チームによるトーナメント戦で行われました。北信越西部は初戦の北海道との試合を３－０、続く２回戦の東海西部を５－０と順当に勝ち上がりました。準決勝では北関東を２－０で下し、迎えた決勝の相手は強豪擁する近畿です。北信越西部は試合終了間際までリードを保っていましたが、あと一歩及ばず準優勝となりました。なお石川県からは窪田和樹選手が優秀選手賞を受賞しました。



準優勝と大健闘を見せた北信越西部の皆さん

優　勝	近　畿
準優勝	北信越西部
３　位	東　北
３　位	北関東

北信越西部チームの皆さん

監督	西川 典孝（石川）
大将	北浦 健司（石川）
副将	小倉 弘行（石川）
中堅	田中 寿人（石川）
次鋒	山﨑 昌司（富山）
先鋒	窪田 和樹（石川）

北信越西部試合経過

〈１回戦〉
北信越西部３－０北海道

〈２回戦〉
北信越西部５－０東海西部

〈準決勝〉
北信越西部２－０北関東

〈決　勝〉
北信越西部２－３近　畿

また、同会場で第27回日整全国少年柔道大会・第８回日整全国少年柔道形競技会が行われ、柔道大会には石川県代表として中能登柔道教室が出場。初戦の長崎県に内容負けを喫したものの、フェアプレー賞を受賞しました。柔道形協議会に出場した鶴来坂田道場は、残念ながら予選突破はなりませんでした。



窪田選手が最優秀選手賞を受賞した。



準決勝で北関東を制し決勝へ!



北信越西部チーム応援団の皆さん。

※大会結果詳細は日整ＨＰをご覧ください。
公益社団法人 日本柔道整復師会
http://www.shadan-nissei.or.jp/

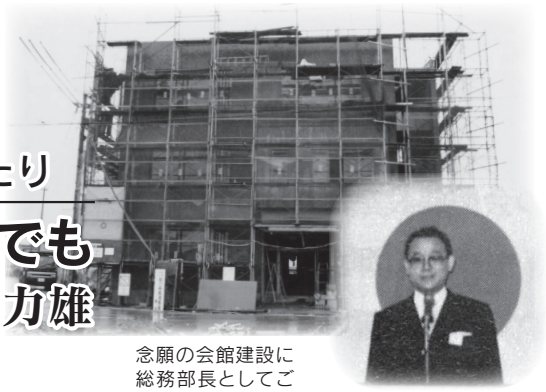
Member's Voice

随　想

第９代会長 久世先生の退会にあたり

柔整への眼差しをいつまでも

金沢南支部　川本　力雄



念願の会館建設に総務部長としてご尽力された。

昭和55年11月の竣工式で。

久世正次先生！ ありがとうございました。

本会の重鎮であられた久世正次先生（83歳）が平成30年３月をもって退会されました。

昭和32年にご入会、各担当職を経て平成７年に本会会長に就任され、実に60余年の長きにわたり本職一途に努められました。その間の役職、公務職は数知れず、平成13年には本会の協同組合設立に奔走され初代理事長にご就任。会員の福利厚生に魂を込めて尽力されました。

特筆すべきは平成20年、本会創立以来初めての栄誉というべき勲章「旭日双光章」を受章されたことは誠におめでたく、私どもにとりましても大きな喜びであり、誇りでもありました。各県の会長をはじめ多くの来賓のご臨席を賜り盛大に、晴れやかに、そして厳かにお祝いの式典が行われたあの日、あの時の先生の喜びの笑顔が、今も脳裏に焼きついております。また忘れられないのは、本会の心臓部でもある会館の建設に際し、当時は総務部長として資金繰りに真摯に精励され、各振興会への補助金の要望や寄付金、助成金などの調達に努められていたあの日々を今も思い出しております。



創立以来の快挙
久世正次先生「旭日双光章受章を

平成20年12月21日、ホテル金沢において本会相談役・久世正次先生
日整会長、工藤啓副会長をはじめ各界からの来賓、久世先生
の参加のもと盛大に開催された。

今回の受章は、永年にわたる柔整の健康増進や保健衛生推進への貢献が認められたものであり、本会創立以来の快挙であり、会員にとっても誇りであり大変な喜びとなった。

久世先生ご夫妻が来賓テーブルに着席すると一調一管の演奏に始まり、川本力雄副会長の開会の辞を述べた。続いて「祝う会」の発起人代表木山時雨会長が祝辞に立ち、県知事代理の森久留県健康福祉部長、小森貴医師会長、萩原

正日整会長より祝辞を頂戴し
久世先生ご夫妻に記念品
贈呈されると先生から、「

久世先生の叙勲は本会にとっても大きな誇りだった（石整広報78号）。

万事入精

あらゆることに丹精を込め、あらゆることに誠心誠意を尽くされ、事の前にあっては準備万端、全身全力、魂を傾けられた先生！

事の後には笑顔でこよなく日本酒を愛され、必ずや反省・検証をされた先生！

良樹細根

本会そして協同組合は今まさに強い根を張りつつあります。

先生におかれましては、いついつまでもお元気でご健康に留意され、強い眼差しとエネルギーを私どもに注いで頂きますようお願いいたします。そして、私事で恐縮ですが、いつの日でも再会のお約束をさせて頂きますことをお許しください。



定時総会で感謝状が贈られ、挨拶をされる久世先生（左は川本会員）。

支部だより

金沢南支部

金沢南支部会員・家族親睦会
楽しい夏の思い出ができました

平成30年7月21日(土)野々市市のロイヤルハワイアンテーブルで金沢南支部会員・家族親睦会が行われ、30名余りの参加がありました。

西川典孝支部長の挨拶、川上利昭会員の乾杯で親睦会がスタート。久しぶりに顔を合わせた会員や日頃話す機会のない会員同士が歓談し、いつの間にか大きくなった子どもたちの成長ぶりなど話題は尽きませんでした。何といっても一番の盛り上がりをみせたのは、豪華賞品をかけた抽選会！子どもたちには参加賞として花火のプレゼントもあり、橋本大衛協同組合理事長の中締めまで楽しい時間を過ごしました。


本日のメインイベントはお楽しみ抽選会！



金沢北支部

金沢北支部家族親睦会
民宿やまじゅうで魚料理を堪能

平成30年8月19日(日)午後1時より、金沢北支部家族親睦会が魚料理・民宿やまじゅうにおいて行われました。会員、家族38名が参加し、暑かったこの夏の疲れをやまじゅう自慢の魚料理で吹き飛ばし、子どもたちの成長の早さに驚きながら楽しいひと時を過ごしました。

恒例のジャンケンゲームでは、子ども同士やシニア会員同士の決勝ジャンケンなどもあり、一気に会場も盛り上がりをみせました。


これでもか！と、魚料理が出てくる。


賞品を渡す二ツ谷副会長の顔もほころぶ可愛さ！



組合だより

当組合から2名が中央会会長表彰を受賞

平成30年6月4日(月)、石川県中小企業団体中央会平成30年度表彰式・第63回通常総会が開催され、石川県柔道整復師協同組合から岡本透組合員と佐川信之組合員が中央会会長表彰を授与されました。

これも日々の貢献の賜物です。おめでとうございます!!


岡本透組合員


佐川信之組合員

トピックス①

「山の日」に白山清掃登山を実施



標高 2.702 m、御前峰頂上で記念撮影。

平成30年8月11日（土・祝日）、登山同好会恒例の白山清掃登山を行いました。台風13号の影響が心配されましたが、当日は曇り空と絶好の登山日和。早朝5時にトングとゴミ袋を手に登山口の別当出合を出発し、清掃をしながら登山を開始しました。今年は連休で登山者も多く、砂防新道を登り始めた早々から空き缶や菓子袋などのゴミが目立ちました。

途中、雄大な自然や雲の晴れ間からのぞく絶景に歓声を上げながら山頂へ。記念撮影の後、白山奥宮で皆様のご健勝と安全を祈願して来ました。下山時の大汝峰で昼食をとり、お池巡りコースからエコーラインコースを経て午後3時30分頃に5名全員が無事下山しました。

ベストにプリントされた「あなたの町の接骨院」について聞かれたり、ほかの登山者の剥がれた靴底に補強のテーピングをするなどの一幕もあり、活動を通じて健康であること、誰かの役に立てることに感謝と喜びを感じた有意義な一日でした。



休憩施設の前でも清掃活動。

黒ボコ岩で（NHKに投稿し「加賀能登イブニング」で放送された写真です）。

トピックス②

金沢南支部恒例 チャレンジ・マイハート 草刈り奉仕活動を実施！



会員 20 名とご家族が参加。お疲れさまでした！

涼しく爽やかに晴れわたった平成30年8月19日（日）朝6時、金沢南支部恒例の草刈り奉仕活動が野々市市社会福祉法人石川サニーメイトで行われました。中村純子理事長から、毎年の草刈ボランティアへのお礼と作業手順の説明があり、西川典孝支部長の号令で施設職員の皆様と共に作業を開始。今年は熱中症予防のためいつもより短い時間でしたが、予定の範囲の草を慣れた手つきで刈り取り、堆肥場に集めて終了。ひと汗かいた後は参加者全員で冷たい飲み物とアイスを頬張り、充実した朝のひと時となりました。

平成12年から始まったこの活動も今年で19回目、参加された皆様ありがとうございました。そして来年も一緒に気持ちのいい汗をかきましょう。



中村理事長から感謝の言葉を頂いた。



19回目ともなれば、道具の扱いもお手のもの。

トピックス③

健康やわら体操普及活動を実施



最初はお互いに緊張気味？

平成30年9月24日(月)午後2時より、金沢市内のデイサービスセンター愛美住・横川で健康やわら体操普及活動を行いました。

「健康やわら体操」は、柔道の創始者である嘉納治五郎先生が考案した「柔の形」、「精力善用国民体育の形」に投げの形を加え、呼吸法とストレッチを取り入れて健康体操としてアレンジしたものです。

当日は、施設利用者と職員合わせて18名の方々に参加して頂きました。最初はお互いに緊張の面持ちでしたが、ゆっくりとした体の動きと緩やかな呼吸、皆さんと触れ合うことで次第に笑顔になり、楽しみながら健康やわら体操を体験して頂くことができました。

今後も多くの方々に体験し継続して頂けるよう普及活動を続け、皆様の健康づくりに寄与していきたいと思っています。



次第にリラックスして動きもスムーズに。



お知らせ①

能登和倉万葉の里マラソン2019でトレーナー活動を実施します

平成31年3月10日（日）開催の能登和倉万葉の里マラソンで、（公社）石川県柔道整復師会会員によるケア・サポート活動を行います。

ストレッチやテーピング、アイシング、コンディショニング等のケアを無料で受けることが出来ますので、出場選手の方はぜひご利用ください。



◎ブース設置場所
和倉観光会館2階ホール

◎サポート活動時間
午前7時から午後5時まで

お知らせ②

皆様の投稿をお待ちしています

テーマは自由。日々の雑感や接骨院へのご意見など、何でも結構です。川柳、短歌、俳句等の作品やイラスト、絵手紙なども大歓迎です。

【送付先】〒920-0031
金沢市広岡2丁目3-26
石川県柔道整復師会　広報部宛
mail：ishiju@spacelan.ne.jp

※郵送の場合は封筒に、メールの場合は件名に「広報原稿」「広報写真」と明記ください。



編集後記

❖本年より宝達志水町での「宝浪漫マラソン」のケア・サポート活動がスタートしました。実施に当たり事前研修会を行いましたが、同日、小松で開催されたKOMATSU鉄人レース事前研修の会場と宝達志水町の接骨院をLineのアプリでつないで同時に受講する方法を初めて試みました。

❖11月開催の本会主催文化講演会の告知活動において、フェイスブックを活用し「シェア」や「いいね」をすることで閲覧数はこれまでにない数字となりました。皆さまが「いいね」をしてくださったお陰で、間違いなく世界何か国かの方々がご覧になっているはずです。これも皆さまのご協力があってのことと御礼申し上げます。

❖viva city vol.21を皆さんのお手元にお届けいたします。フェイスブックのように世界中の方の目に触れることはないのですが、皆さまが待合室等に置いてくださることでその役割を果たします。フェイスブックで本会の活動を広く知って頂くことにも大きな価値はありますが、もっと価値が高まるのは、来院する患者さまたちにお読み頂き地域に発信されることだと考えています。ですから、広報誌とインターネットの利用を両輪として、その活動にご支援頂きたいと熱望しています。

❖今年も残すところわずかとなりました。大雪に見舞われ除雪作業に追われた年初からもう一年が過ぎようとしていますが、来年が皆さまにとって良い一年でありますように。
広報部へご意見・感想をお寄せください。よろしくお願いいたします。　（錦川）

❖2020年7月24日に開催される東京オリンピック・パラリンピックまで、あと600日ほどになりました。来春には、観戦チケットの販売が開始されます。新幹線も開通し東京が近くなったのでぜひ、観戦できたらなぁと思っています。
昔スポーツをしていた、現在もしている、観るのは好きだし興味はあるなど、スポーツへの関わり方はいろいろだと思います。11月25日に文化講演会でご講演頂いたパラアスリートのマクドナルド山本恵理さんがパワーリフティングの選手ということで、どのような競技か調べてみましたが、ルールが細かくてビックリしました。知らなかったことを聞く、調べると興味が出てきます。また、現役の選手から話を聞くことができ、競技の大変さや競技への思いがよくわかりました。講演を聞いて感じたのは、常に笑顔で、努力する姿は見せない、障がいがあることを感じさせない、まさに世界を目指すアスリートであるということです。
講演会に参加された皆さんは、山本さんの話を聞くことでパラスポーツに興味を持たれたことと思いますし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックではいつもと違う見方が出来るのではないでしょうか。そして、マクドナルド山本恵理さんがパラリンピックに出場できるよう、みんなで応援しましょう。　（川上）



ビバ・シティVOL.21 石整広報107　（平成30年12月20日発行）

■発行所／**公益社団法人石川県柔道整復師会**
石川県金沢市広岡２丁目3-26
TEL076-233-2122㈹　FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp
■発行者／**嶋谷　清**
■編集者／**錦川 孝彦・川上　勝・中野 秀人・山本 久人・小松 英夫・太田 信幸・木藤 正幸・唐木　均・五十嵐 久智**



撮影　加賀支部　佐藤 裕之会員
使用カメラ:ニコンD3100
使用レンズ:f/5 ISO-100 1/5sec

［兼六園 噴水］
19世紀中期に造られた日本最古とされる噴水で、加賀藩主前田斉泰公が金沢城二の丸に水を上げるために試作したものと言われています。噴水より高い位置にある霞ヶ池を水源に、逆サイホンの原理を利用した自然水圧で約3.5mの高さまで水を噴き上げており、日本庭園としては極めて珍しいものです。

公益社団法人 石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp